

研究課題 (テーマ)		効率的な富山県内就職定着のための環境構築	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	電気電子工学科	准教授	小島千昭
	電気電子工学科 電気電子工学科	教授 准教授	吉河武文 唐木智明
研究結果の概要			
<p>本プログラムでは、インターンシップ・就職活動を行う学部生と大学院生を対象として、以下の2項目の達成を目的としました。</p> <p>(i) 電気電子工学科進路資料スペース (研究棟3階) のコンテンツや設備を充実させることによって、富山県内の電気電子系や異業種の企業を広く知ってもらう。</p> <p>(ii) 富山県内企業における電気電子系人材の必要性や幅広い魅力や仕事内容、働き方を認知させ、県内企業への選択肢の拡充と同時に就職意欲を高める。</p> <p>項目(i)に関しては、県内企業に関する資料が学生から目に入りやすくなるように、進路資料スペースの配置換えを実施しました。さらに、電気電子工学科 (電子・情報工学科電子コース) の学生が、自身の進路に関する情報や意見の交換をスムーズに行うことができるように、進路資料スペースのテーブルや椅子を一新しました。</p> <p>また、受験報告書の整理を行い、進路資料スペースに設置したファイルだけでなく、USBメモリに収録し学生に貸し出すことを可能とするような受験報告書検索システムを開発しました。これによって、学生の受験企業に関する検索効率を向上させることで、企業に関する情報の取得がスムーズとなるように改善を行いました。また、本システムを他学科にも提供することによって、全学的な進路指導の効率化に有効となることもあわせて期待されます。</p> <p>一方で、項目(ii)に関しては、前年度に引き続き新型コロナウイルスコロナの流行を原因として、積極的に大学から企業側に赴いて交流を図ることが困難となりました。このため、当初の計画から実施方法を変更せざるを得ず、十分に遂行することができませんでした。</p> <p>本プログラムの成果として、進路資料スペースの改装や受験報告書検索システムによって、県内企業を中心とする企業の情報収集の効率化が認められ、自身のキャリア形成に関する取り組みの活性化が認められました。特に、県内企業の状況を知り、よりよく学生の県内就職を指導することに役立つことが期待されます。最終的な成果に関しては、令和5年3月卒業の学生の進路状況を見つ、検討をしていく予定です。</p>			
今後の展開			
<p>令和4年度では、受験報告書検索システムに継続して取り組み、オンラインでの閲覧システムの構築などより利便性を持つ枠組みへと展開する予定です。また、本年度着手ができなかった県内企業との交流について、新型コロナウイルスの状況を見つ、積極的に推進することも考えています。</p>			

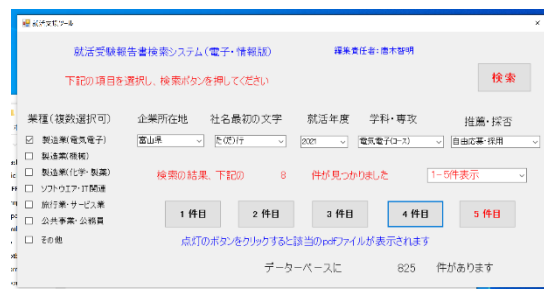


図 1: 受験報告書検索システムの画面